



平成 20 年 10 月 23 日

各 位

会 社 名 株式会社 ブロッコリー
代表者名 代表取締役社長 上田 陽史
(JASDAQ コード 2 7 0 6)
問合せ先 取締役管理本部長 渡邊 朋浩
(TEL 03 - 5946 - 2824)

(修正) 「平成 21 年 2 月期中間 (連結・単独) 業績予想との差異および
通期業績予想の修正に関するお知らせ」一部修正のお知らせ

本日平成 20 年 10 月 23 日開示の「平成 21 年 2 月期中間 (連結・単独) 業績予想との差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ」におきまして、一部文章内容を以下のように修正いたしますので、お知らせいたします。

【修正前】以下、下線部分

(1 ページ目 「1. 平成 21 年 2 月期 連結業績予想との差異(1) 中間期 (平成 20 年 3 月 1 日～平成 20 年 8 月 31 日)」

〔差異理由〕

売上高につきましては、新ブランド「アニブロッグゲームズ」の顧客へのブランディングに時間を要したとともに、当社主力エリアである秋葉原での社会事件の発生による一時的な顧客離れが生じたこと等により、平成20年4月16日付当社「平成20年2月期決算短信」にて発表いたしました当初の売上見込を達成することができず、4,835百万円 (当初予想比：463百万円の減少) となっております。

営業利益につきましては、6月18日と8月6日にそれぞれ移転を発表致しました、仙台店と札幌店の「アニブロッグ」店舗へのリニューアルに伴う初期コストと移行コストの一時負担金などを追加計上したことにより△314百万円 (当初予想比：327百万円の減少) となっております。

【修正後】以下、下線部分

(1 ページ目 「1. 平成 21 年 2 月期 連結業績予想との差異(1) 中間期 (平成 20 年 3 月 1 日～平成 20 年 8 月 31 日)」

〔差異理由〕

売上高につきましては、新ブランド「アニブロッグゲームズ」の顧客へのブランディングに時間を要したとともに、当社主力エリアである秋葉原での社会事件の発生による一時的な顧客離れが生じたこと等により、平成20年4月16日付当社「平成20年2月期決算短信」にて発表いたしました当初の売上見込を達成することができず、4,835百万円 (当初予想比：463百万円の減少) となっております。

営業利益につきましては、上記売上高差異理由による売上の減少と、6月18日と8月6日にそれぞれ移転を發表致しました、仙台店と札幌店の「アニプロ」店舗へのリニューアルに伴う初期コストと移行コストの一時負担金を追加計上したことなどにより△314百万円（当初予想比：327百万円の減少）となっております。

以上